

福音メッセージ 空しさはどこから来るのか

伝道者の書 1章

- 1 エルサレムの王、ダビデの子、伝道者のことば。
- 2 空の空。伝道者は言う。空の空。すべては空。
- 3 日の下でどんなに労苦しても、それが人に何の益になるだろうか。
- 4 一つの世代が去り、次の世代が来る。しかし、地はいつまでも変わらない。
- 5 日は昇り、日は沈む。そしてまた、元の昇るところへと急ぐ。
- 6 風は南に吹き、巡って北に吹く。巡り巡って風は吹く。しかし、その巡る道に風は帰る。
- 7 川はみな海に流れ込むが、海は満ちることがない。川は流れる場所に、また帰って行く。
- 8 すべてのことは物憂く、人は語ることもできない。
目は見て満足することがなく、耳も聞いて満ち足りることがない。
- 9 昔あったものは、これからもあり、かつて起こったことは、これからも起こる。
日の下には新しいものは一つもない。
- 10 「これを見よ。これは新しい」と言われるものがあったても、
それは、私たちよりはるか前の時代にすでにあったものだ。
- 11 前にあったことは記憶に残っていない。
これから後に起こることも、さらに後の時代の人々には記憶されないだろう。
- 12 伝道者である私は、エルサレムでイスラエルの王であった。
- 13 私は、天の下で行われる一切のことについて、知恵を用いて尋ね、
探し出そうと心に決めた。
これは、神が人の子らに、従事するようにと与えられた辛い仕事だ。
- 14 私は、日の下で行われるすべてのわざを見たが、
見よ、すべては空しく、風を追うようなものだ。
- 15 曲げられたものを、まっすぐにはできない。欠けているものを、数えることはできない。
- 16 私は自分の心にこう言った。
「今や、私は、私より前にエルサレムにいただれよりも、知恵を増し加えた。
私の心は多くの知恵と知識を得た。」
- 17 私は、知恵と知識を、狂気と愚かさを知ろうと心に決めた。
それもまた、風を追うようなものであることを知った。
- 18 実に、知恵が多くなれば悩みも多くなり、知識が増す者には苛立ちも増す。

空しさはどこから来るのか

伝道者の書1章

I. 特異な書

1. 空虚さ、絶望が主要な内容 「空」「空しい」(H.「ヘベル」) × 39
2. 「死んだら何もない」「生きている間が花」
3. 「主」(YHWH)ではなく「神」(Elohim)
4. 著者はだれか

「正典に含めていいのか」
(マルティン・ルター)

II. ユニークな書

1. ソロモン王が「伝道者」(コヘレト=教師、討論者)
あえて反対の立場から真理を伝える(反面教師)

「知恵文学」の手法のひとつ

2. ソロモンにしか経験できなかったこと
観察、思索、知恵の探求、快樂、贅沢
父の信仰から離れる

3. ソロモンの間違い
生きる意味について
死について

4. 書き出しと結論が正反対

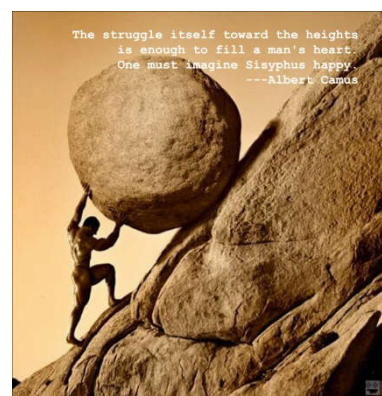
「無意味」(=空しい) 1章

「神を恐れよ」(=神に信頼する人生を送れ) 12章

2:24 人には、食べたり飲んだりして、自分の労苦に満足を見出すことよりほかに、何も良いことがない。
3:19 人の子の結末と獣の結末とは同じ結末だ。これも死ねば、あれも死ぬ。両方とも同じ息を持っている。人は何も獣にまさっていない。すべてはむなしからだ。

III. 人生の空しさ

1. 「空の空」
2. 自然の空しい繰り返し
『死の家の記録』(ドストエフスキー)
停止することのないルームランナー
3. 新しいものは何もない
4. 記憶に残らない
5. 過去を変えることはできない
6. 知れば知るほど苛立ちは増す



シジフォスの神話

IV. ソロモンが見落としていたこと

7. 「日の下」(28回)に答えはなかった
8. 天から来た方に答えがある！
9. なぜなら人は神(Elohim)に創造されたから

God is nowhere. 神はどこにもいない

God is now here. 神は今ここにおられる

コリント人への手紙 I 15:55~58
「死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。…しかし、神に感謝します。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。ですから、私の愛する兄弟たち。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは、自分たちの労苦が主であって無駄でないことを知っているのですから。」

ヨハネ3:13 だれも天に上った者はいません。しかし、天から下って来た者、人の子は別です。
ヨハネ6:41, 42 ユダヤ人たちは、イエスが「わたしは天から下って来たパンです」と言われたので、イエスについて小声で文句を言い始めた。彼らは言った。「あれは、ヨセフの子イエスではないか。私たちは父親と母親を知っている。どうして今、『わたしは天から下って来た』と言ったりするのか。」